

## 「力を合わせこぎ遠い島を周回」

芦北町のあしきた青少年自然の家に集団宿泊で行きました。一番心に残っているのは、マリン活動でのカッター艇です。みんなで心を一つに声を掛けてこいでいくものです。

最初は自分のことで精一杯でした。でも、慣れていくうちに周りに気をつかえるようになっていきました。前の人の動きに合わせてようとすると、次第に自然とできるようになりました。

前へ前へと進んでいくうちに、だんだんと手がいたくなってきました。でも、みんなも頑張っているということを励みに、最後まで手を抜かず、こぎきることができました。そして、青少年の家から遠く離れた島を回ることができました。

青少年の家の職員の方が「島を回れるのは年に5校くらいしかありませんよ」と言われました。それを聞いて、とても嬉しく思いました。島を回れたのも、一人一人が頑張り、その力が一つになったからだと思います。この経験をこれからの学校生活にもつなげていきたいです。